

ポジティブインパクトファイナンスの契約締結について

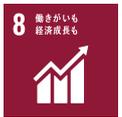
十六リース株式会社(社長:白木 幸泰 本社:岐阜県岐阜市)は、株式会社十六銀行(頭取:石黒明秀)との間で、2022年3月30日に同行が提供する「ポジティブインパクトファイナンス」による融資契約を締結しました。

ポジティブインパクトファイナンスはサステナビリティファイナンスの1つで、ポジティブインパクト金融原則に基づく評価フレームワークを活用して企業活動の社会的影響(インパクト)を評価し、「ポジティブなインパクトの創出、またはネガティブなインパクトの低減」が確認された場合、その取組みの継続的な支援を目的として融資が行われるものであり、岐阜県下で初めての取組みとなります。

当社は、「リース・割賦という金融サービスの提供を通じ、お客さまとともに成長し、地域社会の持続的な発展に貢献する企業を目指します」という経営理念を掲げております。この理念に基づき、当事業が環境・社会・経済に与える影響を包括的に分析し、その課題解決に取り組むことが、地域社会の持続的発展と当社の企業価値の向上に資するものと考えております。

本契約に際し、当社が策定した KPI(次頁参照)に対し、株式会社十六総合研究所が定性・定量的分析に基づき評価を行い、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブが制定したポジティブインパクト金融原則への準拠性についてセカンドオピニオンを取得しています。

① 地域経済の活性化と地域社会の持続的発展／環境保全と気候変動対策

インパクトの種類	経済的側面においてポジティブインパクトを拡大 環境的側面においてユーザーのネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」 「大気」「気候」
関連する SDGs	   
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化と地域社会の持続的発展のため、金融サービスを通じた取引先の支援を行う ・環境保全と気候変動対策を考慮した、取引先の設備導入支援を行う
目標と KPI	目標：取引先の ESG リースの利用拡大 KPI：2028 年度までに ESG リースを 300 件実行

② メンテナンスリースによる、安全で持続可能な自動車利用の促進

インパクトの種類	環境的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」 「健康・衛生」
関連する SDGs	 
内容	安全で持続可能な自動車利用を促進するため、メンテナンスリースの推進体制を強化する
目標と KPI	目標：メンテナンスリース取組件数拡大に向けた推進体制の構築 KPI：第 5 次中期経営計画（2024 年 4 月～2027 年 3 月）にメンテナンスリースについての数値目標を盛り込む

③ 廃棄物の適切な管理

インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」 「健康・衛生」
関連する SDGs	 
内容	リース終了物件について、法令・ガイドラインに則り適切な管理を行う
目標と KPI	目標：リース終了物件の適切な管理 KPI：法令違反ゼロ

④ 従業員満足度の向上

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
----------	--

インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容	有給取得の推進、テレワークの推進を行い、従業員満足度を向上させる
目標と KPI	<p>目標：有給取得率向上、テレワーク体制の整備</p> <p>KPI：・有給休暇取得率を 2026 年度までに 85%とする</p> <p>・本部のテレワーク体制（ノート PC のモバイル化）を 2022 年度までに 65%、2023 年度までに 85%、2024 年度までに 100%とする</p>

これらの取組みにおける成果は、ウェブサイトなどによって開示する予定です。当社は、総合リース会社として、金融サービスの提供を通じ、お客さまとともに成長し、社会課題の解決に取り組めます。

参 考

ポジティブインパクトファイナンス評価書
セカンドオピニオン（第三者意見）